

# 『Kaggle で磨く 機械学習の実践力』

ISBN : 978-4-86594-326-9

## 読者フォローアップ情報

株式会社リックテレコム・書籍出版部

最終情報更新日：2024 年 12 月 23 日



### 2024 年 12 月 23 日付け情報

Kaggle 環境の Python およびライブラリのバージョンアップにより、一部コードが書籍通りに動作しなくなったため、現時点の環境で動作するようにコードを見直し、本書ダウンロードサイトの「サンプルスクリプト」zip を更新しました。

#### ■変更箇所

- ・ 4～6 章のコード (kaggle-ch04-v1-3.ipynb, kaggle-ch04-v1-3.ipynb, kaggle-ch06-v1-3.ipynb)
  - numba ライブラリのインストール (!pip install numba==0.58.0)
  - ライブラリのインストール後、環境に反映させるために下記の方法で再起動してください。  
再起動方法：メニューの「Run」から「Restart & clear cell outputs」を選択して再起動
- ・ 6 章のコード：(kaggle-ch06-v1-3.ipynb)
  - スクリプト 6-15：再現性のためのシート固定用コードの修正。tensorflow のバージョンアップ対応。ただしエラー回避を優先し、学習ごとに結果が変わる状態となっています。
  - スクリプト 6-21：filepath の「model\_keras.h5」を「model\_keras.weights.h5」に変更。  
tensorflow のバージョンアップ対応。
  - スクリプト 6-28：filepath の「model\_keras\_embedding.h5」を  
「model\_keras\_embedding.weights.h5」に変更。tensorflow のバージョンアップ対応。

### 2024 年 2 月 14 日付け情報

Python およびライブラリのバージョンアップにより、実行環境によっては、書籍のコードの一部

が動作しないことがあります。このようなことを回避するためには、主要なライブラリのバージョンを書籍の前提環境に合わせることが必要となります。

<書籍における前提環境>（書籍の冒頭に記載したとおり）。

- ✓ Python : 3.7.12
- ✓ 主なライブラリ : numpy=1.21.6、pandas=1.3.5、tensorflow=2.6.3、lightgbm=3.3.1、scikit-learn=1.0.2

例えば、以下のようにライブラリのバージョンを指定してインストールするとよいです。

```
# ライブラリのバージョン指定
!pip install pandas==1.3.5
!pip install lightgbm==3.3.1
!pip install scikit-learn==1.0.2
```

また、これ以外にも「pandas\_profiling」ライブラリの名称が変更となり、「ydata\_profiling」となりました。このため、インポート時のコードを下記のように変更してください。

[変更前] import pandas\_profiling as pdp

[変更後] import ydata\_profiling as pdp

これらの変更を踏まえ、2024/02/14 時点の Kaggle の notebook 環境で動作するように、ダウンロードできるコードを更新しました（v1.2 のコード）。

- ✓ 4 章～7 章のコード : Kaggle の notebook 環境でそのまま動きます。
- ✓ 8 章 : mlb ライブラリが特殊なため、下記の手順に従って実行してください。

(手順 1) 下記 URL をクリックしてノートブックにアクセス

<https://www.kaggle.com/code/moromoromoro/kaggle-mlb-environment>

(手順 2) ノートブックの右上をクリックして、「Copy & edit notebook」を選択してノートブックを起動

(手順 3) この環境上で書籍のコードを実行（これで mlb ライブラリのインポートが可能となるはずです）

(手順 4) v1.2 のコードを利用したい場合は、起動したノートブックの「File」メニューの「Import Notebook」をクリックして v1.2 ファイルをインポート

※ mlb ライブラリの前提環境が python=3.7 であるため、これに対応するために python=3.7 環境を公開ノートブックで用意しました。なお、サブミット時は「インターネット非接続(Internet off)」が必須のためご注意ください（用意した公開ノートブックは初期状態で「インターネット非接続」に設定しています）。

---

## 2022 年 9 月 28 日付け情報

下記（2022 年 6 月 6 日付け情報）の問題は、Kaggle 環境の更新によって 2022/09/26 時点では解消されています。このため、pandas\_profiling ライブラリのバージョン更新は不要です。

---

## 2022 年 6 月 6 日付け情報

本書の刊行後、Kaggle 環境変更に伴い、以下の事象が発生しています。ライブラリのバージョン問題のため下記のような対応をお願いします。

### 【症状】

- 第 4 章 4.3 節において、notebook 上で P.62 の「スクリプト 4-1 ライブラリの読み込み」を実行すると、pandas\_profiling ライブラリのインポートに失敗する。

### 【対応策】

- 「import pandas\_profiling as pdp」を実行する前に、ライブラリのバージョンを 3.2.0 に上げてください。具体的には、notebook 起動後最初に「!pip install pandas\_profiling==3.2.0」を実行してください。エラーメッセージやワーニングが表示されますがインポートは成功します。

### 【注意事項など】

- 「import pandas\_profiling as pdp」を先に実行してエラーが一度出してしまうと、その後にライブラリのアップデートをしても解消されないため、そうなってしまった場合は一度 notebook をリスタートしてから「!pip install pandas\_profiling==3.2.0」を実行してください。
- 本ライブラリは P.113 の「便利な集計ライブラリ pandas\_profiling」でのみ利用しています。このため、簡易の対応策としては、「import pandas\_profiling as pdp」をコメントアウト（あるいは削除）することで、残りのスクリプトは動くようになります。
- 本現象は、Kaggle 環境の更新に伴うものです。pandas\_profiling 自体のバージョンは執筆時と同じですが、依存関係にあるライブラリのバージョンが変わったことでインポートに失敗してしまいます。今後 Kaggle 環境の更新によって問題は解消される可能性があります。

※上記の不具合に対応するため、本書ダウンロードサイトの「サンプルスクリプト」zip を本日付けにて更新しました。 以上

---